

うさぎ組になって1か月が経ちました。2階の保育室やピンクの帽子、ランチルームでの食事等、いろいろな新しいことが嬉しくて、毎日目を輝かせている子どもたちです。「もうおにいさんおねえさんだもんね!」と言いながら、様々なことに意欲的に取り組む姿に成長を感じました。これからも子どもたちの意欲や気持ちを大切にしながら過ごしていきたいと思ひます。

こいのぼり制作では、にじみ絵を楽しみ、初めてはさみの連続切りもしました。「むずかしい!でもたのしい!」「もっとやりたい!」と意欲的に取り組んでいました。子どもたちが表現したこいのぼりポンチョが出来上がると「できた!これでこいのぼりにへんしんできるね。」と嬉しそうに友だちと話している姿がかわいかったです。

うさぎ組では友だちの誕生日がやって来るとケーキの話で盛り上がります。5月はスポンジやビーズ、リサイクル素材等を使ってケーキを作り、みんなでケーキ屋さんごっこを楽しみたいと考えています。また、暖かい日差しの中で近隣の公園や春の遠足に出かけ、友だちと一緒に歩く楽しさや身体を動かして遊ぶ気持ちよさを感じて楽しく過ごしていきたいと思ひます。5月は1名の新しい友だちが加わります。



園庭で遊んでいた時のこと。  
「ありさんがいる!」とAちゃんとBくんの声が聞こえてきました。  
Bくん「ありさんスコップにのるかな?」  
Aちゃん「ありさーん、こっちだよー。  
おちないようにきをつけてね!」  
地面を歩くアリにスコップを差し伸べて、優しく声を掛ける姿がとてもかわいかったです。アリもその声に反応したのか、スコップの上をゆっくりのぼっていました。

ひつじ組になり、1か月がたちました。戸外遊びが大好きな子どもたちは、友だちや保育者を誘っては鬼ごっこや転がしドッチをしたり、自分の身長程の高さの巧技台をよじ登り、ジャンプに挑戦したりするなどのびのびと過ごしていました。また、さら砂作りや泥団子作りなどもじっくりと楽しむ姿も見られていました。そして、進級当初から、「今日からひつじぐみだから!」と張り切って生活してきた子どもたちは、こいのぼり制作や散歩、お当番活動など何をするにも「楽しそう!」「やってみたい!」と目を輝かせています。そんな子どもたちの姿から一生懸命取り組もうとする気持ちや一つ大きくなった喜びや嬉しさを感じました。これからも子どもたちの心情や意欲を大切に過ごしていきたいと思ひます。

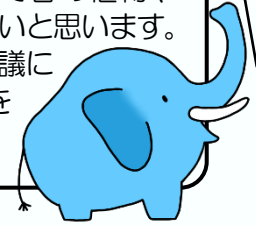
5月は新緑の季節です。大学の森や園庭で虫探しや草花遊びを経験したり、園外へ出かけ、交通ルールを守りながら友だちと一緒に歩き、様々な発見に心を動かしながら過ごしていきたいと思ひます。



話し合いの時間にこいのぼり制作の話をしていた時のこと。  
保育者「画用紙にうろこを貼って、目をパスで描いて・・・すてきなこいのぼりができるかな～」  
Aちゃん「先生、こいのぼりの手をつけるの忘れてるよ」  
Bくん「顔にも模様があるよ。見てごらん」  
Cちゃん「それも作ったらいいんじゃない?」  
保育室に飾っているこいのぼりを指さしながら話をしていました。子どもたちの観察力と意欲に感心してしまいました。

ぞう組になり、1か月がたちました。期待と喜びを持って進級した子どもたちは、何事にも積極的にやってみよう、頑張ろうとする姿が見られます。お当番活動は「前のぞう組さんがおやつの時、うさぎ組・ひつじ組の机拭いてくれてたね。やってみたい!」とみんなでやってみたいこと、どんなことができるのかを話し合っで決めました。そして5人のお当番で声を掛け合い、それぞれの役割を手分けして頑張っています。また、1階の絵本棚や園庭の玩具かごなど、「ぞう組が最後見てあげる!」「片付けといたよ!」と子どもたちの方から気付いて片づけの確認をしてくれています。年長児としての自覚が芽生えてきている様子に、とても嬉しく思ひます。

4月は、お父さん・お母さん・子どもの3匹の巨大こいのぼりを作り、みんなで1つの物を作る喜びを感じました。今月は、トウモロコシやオクラの夏野菜を植えてお世話を始めたり、散歩先や園庭で春の植物や虫を探したりして、自然に触れる機会をたくさん作っていきたく思ひます。そして、子どもたちの気付きや発見をみんなで共有し、不思議に思うことを調べたり話し合ったりして、自然への興味関心を深めていきたく思ひます。



戸外遊びでの出来事。  
「せんせーい!見たことのない虫がいるよ」  
「もしかして毒あるんとちゃう?」  
黒く細長い黄色い模様がある小さな虫を囲んで話していた子どもたち。  
保育者が「どれどれ・・・あー、これはね TENTUMシの幼虫だよ」と伝えると、「へえー!!!」と驚きの声をあげてじっと観察していました。それから、「踏まれたら TENTUMシにならへん」と幼虫がコンクリートの地面から植え込みまで歩いて行く様子を優しく見守ってあげていました。